

CSR重要課題 05

Collaboration with stakeholders

ステークホルダーとの協働

主なSDGsとの対応関係



OUR APPROACH

私たち東洋アルミグループは、生産活動や雇用を通して地域の社会経済活動に貢献しています。また、地域社会と協働して、文化事業への支援や環境保全活動への協賛、NPO法人を通じたフードバンク活動への協力や支援活動などを積極的に行っています。さらにNPO法人が企画する訪問学習サポート(中高生の企業訪問受け入れ)を通じて次世代育成への貢献活動にも力を入れています。その他、従業員による地域の清掃ボランティア活動や、自然災害により被災された地域への支援活動など、さまざまな活動を通じて今後も積極的な取り組みを推進し、持続可能な社会へ貢献することで、さらなる企業価値の向上を目指します。

アルミ業界をリードする企業としての「会社の品格」を持って、社会に必要とされる企業を目指します。

ステークホルダーとの関わりを考えるうえで、「会社の品格」を大事にしています。それは従業員の立ち振る舞いや、当社の製品・対応に対する評価として表れるものであり、ブランド力にも通じるものだと思います。そのために従業員には個人の力を発揮していただける環境づくりを大切にしています。また取引先には高品質の製品を提供し、マーケットに支持されることが重要です。また、世界中の人に東洋アルミグループのことをもっと知ってほしい、社会における存在意義を高めたい、という思いはありますが、それと同時に、将来、日本を支えていく子どもたちに対して、日本にアルミ業界の代表として、アルミニウムという素材を普及、PRしていく社会的な責任があると思っています。



執行役員 総務部担当 石黒 秀雄

2019年度の主な取組み

従業員との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ■従業員が十分に力を発揮できる環境の整備
地域・社会とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■小学生向けワークショップの開催 ■大阪マラソンのチャリティーランナーに参加 ■フランスの大学院生を招いて東洋アルミグループの事業や日本企業を紹介 ■横浜FCが主催する「横浜FCココハマぼるとカップ」への協賛 ■公益社団法人大阪交響楽団に協賛 ■お客さまや行政・地方自治体とのダイアログ実施

CSR活動アクションプラン

- さまざまなステークホルダー(地域、顧客、従業員など)との対話を通じて信頼度・満足度の向上
- 取引先様ダイアログ実施

Practice case

case 01 地域・社会とのコミュニケーション

アルミをテーマにしたワークショップの実施

2019年10月、福井県敦賀市の公益財団法人福井原子力センター「原子力の科学館あっとほうむ」にて実施された小学生対象のイベントに参加し、アルミニウムに関するワークショップを開催。アルミを使った実験を通じて、アルミへの理解と学ぶことの楽しさを体感していただきました。



case 02 地域・社会とのコミュニケーション

チャリティーランナーとして大阪マラソンへ参加

2019年12月1日に開催された第9回大阪マラソンに、当社従業員5名がチャリティーランナーとして参加しました。この取組みはマリ・クリスティエヌ社外取締役が副会長を務める、「認定NPO法人日本ハビタット協会」からのご提案を実現したもので、ラオスの子どもたちに教科書・給食を支援する目的で行われました。



case 03 地域・社会とのコミュニケーション

お客さまや行政・地方自治体とのダイアログを実施

パウダー・ペースト事業本部では、お客さまや行政とのダイアログを積極的に推進し、当社の事業活動やSDGsに対する取組みを紹介しています。事業所がある御所市、葛城市、日野町を訪れた際は市長、町長にもご参加いただき、地域の活性化についても意見を交わしました。

Column

YouTubeの登録チャンネルを開設

より多くの方に当社を知っていただくために、東洋アルミグループ公式YouTubeチャンネルを開設しました。東洋アルミグループの事業や製品の紹介のほか、リクルート向けに先輩社員の声などを発信しています。

